

(報道発表資料)



令和6年4月10日
京都市文化市民局
(担当 動物園 075-771-0210)

京都市動物園 トラの死亡について

令和6年4月9日(火)に、当園で飼育中のトラが死亡しましたので、お知らせします。
これにより、当園で飼育しているトラは1頭となりました。

1 死亡した個体について

- (1) 愛称 アオイ
- (2) 性別及び数 メス 1頭
- (3) 死亡年月日 令和6年4月9日(火)
午後0時20分
- (4) 死因 腎不全
- (5) 出生年月日 平成16年9月30日(木)
- (6) その他

繁殖を目的として平成17年6月13日に日本平動物園(静岡県)から来園しました。「ビクトル」との間に3頭の子を産み、立派に育て上げました。国内最高齢の19歳でした。



2 経過

- 3月 食欲不安定
- 4月5日 嗜眠傾向、食欲廃絶
- 4月6日 投薬治療
- 4月9日 グラウンドで横臥し、てんかん重積発作が認められたため、麻酔下で処置

(参考) トラ(食肉目ネコ科 英名:Tiger 学名:*Panthera tigris*)

トラはネコ科最大の動物で、ユーラシア大陸に広く分布しています。生息地により9亜種に分けられますが、3亜種は既に絶滅し、現存する6亜種も絶滅が危惧されています。当園で飼育しているアムールトラはシベリアトラともいい、最も大型の亜種で、冬毛が長いのが特徴です。アムール川流域のロシア、中国北東部に分布しています。夜行性で単独で行動し、イノシシ、シカの仲間、魚など獲物は様々です。

アムールトラは、令和5年12月31日現在、公益社団法人日本動物園水族館協会に加盟している施設において、25施設で49頭が飼育されています。